
想いを

蒼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
想いを

【Nコード】
N1114B

【作者名】
蒼

【あらすじ】
想っているのに、伝えたいのに

（前書き）

今回も短編になります。読んでいただければ幸いです。

私は見ているだけで良かったのに。

なんてことになってしまったんだろう。

今のこれは何？

見ているだけで良かったんじゃないの？

自分で自分が嫌になる。

始まりは窓から見えた後ろ姿。

まだ雪が消えたばかりで、寒くて、だから誰かのことが恋しかったんだ。

それでたまたま見つけたのが　あなた。

たくさんの人の中で一人寒そうにしていた。

空気が冷たいせいもあったかもしれないけどそれより何より心が寒そうにみえて。

私と何だか似ているような気がして。

その日から少しづつ目で追うようになった。

始めのうちは

『あつこの前見た。』

位だったのがどんどん変化して自分でも抑えられなくなって、

『好き。』

そんな気持ちにまで変化してしまった。

でも言葉にして伝えることはできない。

だってあなたの隣にはもう誰かがいるから。

毎日二人して手を繋いでじゃれあって。

嫌でも目につく。

だっていつも見てるから。

毎日、見るたびに心の中で

『好き。』

って繰り返す。

ベタだけど、廊下でぶつかった時も、
その後から喋るようになってからも、
私の『好き』は変わらない。

変わらないどころじゃない。

だんだん大きくなってる。

毎日交すようになってきた言葉も

ただ『おはよう』って言うてくれるだけでも

嬉しくて

泣きたくて

困らせるの分かってるのに『好き』って伝えたくて。

見ているだけで良かったのに。

私はこれからも心を縛りつける。

『好き』と言っているこの心を。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1114b/>

想いを

2010年11月12日16時26分発行